

長岡圏域冬期道路交通確保連携会議

議事概要

1. 日時 平成28年3月8日（火）14:00～16:00

2. 議事概要

1) 検証について

○除雪状況

- ・ 消雪パイプの融雪能力を超える強い降雪のため、県道の消雪パイプ設置区間においても交通障害が発生。
- ・ 時間降雪量 10cm の強い降雪により、除雪しても圧雪が取りきれない状況。
- ・ スタック車が多発し、除雪車がスタック車の牽引に回った対応となり、国道8号は梯団が組めない状況となった。今後はスタック車発生を抑制する対策の検討が必要。
- ・ 渋滞発生時は、除雪車が中央分離帯を撤去して反対車線に回るなどの方法も検討が必要。

○迂回路

- ・ 長時間の渋滞となる場合は迂回路想定パターンを決め、選択肢を選定する形の検討が必要。
- ・ 渋滞緩和のため、補助国道を活用して、小型車や緊急車両は通すなどの対策の検討が必要。

○交通状況等

- ・ 放置車両について、警察に通報しても道路管理者に情報が届くような、検討が必要。

○情報提供

- ・ 流通業者から情報不足を指摘。ハード面でどのように工夫すれば情報提供が出来るか検討が必要。
- ・ VICS の情報が一部反映されておらず改善が必要。

○情報連絡本部

- ・ 今回のような豪雪時は、情報連絡本部を早急に設置すべき。

○高速道路の通行止め

- ・ 当時は災害という認識はなく、一刻も早く開けることを考えていた。

- ・ 1車線で通行止めを解除した場合、事故等で止まる車が出て後続が滞留することが想定されるため、安全を優先し、必ず2車線を確保したい。
- ・ 今回は2車線を確保し、開通後は事故が1件もなかった。

○高速道路の除雪方法

- ・ ランプ除雪は、料金所の外に出ると戻れないこともあり、国交省が行うなどの連携が必要。
- ・ 消雪パイプの増設についても検討が必要。

2) 今後の対策の視点について

以下の4つの視点で対策を検討することを確認した。

- ・ 車両流入が避けられない市街地部での除雪体制・除雪方法。
- ・ 住民、ドライバー、企業への降雪状況等の情報提供と不要不急の外出を控える呼びかけ。
- ・ 並行する高速道路の早期交通解放。
- ・ 長時間渋滞が発生した際のドライバー支援。

3) 今後の進め方について

- ・ 事前の対応、除雪の検討、体制の強化、消雪パイプの設置等について、それぞれの道路管理者で検討。
- ・ 次回は、年度内を目途に中間報告的なまとめを実施。